

群馬県がん患者団体連絡協議会

ニュースレター♪

2009年2月1日 第12号



～主な記事～

- ◇ **健康づくり財団胃胸部併用X線テレビ検診車完成しました**
- ◇ **第1回群馬県立病院改革検討プラン検討委員会の報告**
- ◇ **活動報告（あけぼの群馬 ひまわりの会）**
- ◇ **掲示板**

健康づくり財団胃胸部併用X線テレビ 検診車完成しました！！

健康づくり財団では、日本対がん協会を通じて財団法人JKA(旧日本自転車振興会)の補助をいただき、県内初のデジタル式胃胸部併用検診車を整備しました。今後、精度の向上と検診の効率化が期待されます。胃胸部のレントゲン装置が併設されているため、受診者のニーズに合わせた少人数の検診も効率よく実施できます。また、最新のデジタルX線撮影装置を導入することにより、撮影した画像をリアルタイムで確認することができ、精度の高い画像・診断を提供できるようになりました。

去る1月28日完成披露式が挙行政され、式典、並びにセレモニーの後、検診車が披露されました。製作費用は60,826,500円、うちJKAの補助は22,050,000円となっております。これからもがんの早期発見を目指し、検診を充実させていきます。



編集・発行/(財)群馬県健康づくり財団



がん連協本田会長が民間の団体として県立病院改革検討委員会委員に就任されました。先日第1回委員会が開催され、本田会長から報告をいただきました。私たちの身近にある県立病院について、患者側からも意見が求められています。一緒に考えていきたいと思えます。

第1回群馬県立病院改革プラン検討委員会の報告

群馬がん患者連絡協議会会長
本田 攝子

2009年1月21日県庁で第1回群馬県立病院改革プラン検討委員が開かれ出席しました。

委員は18名。殆どは病院経営に携わる院長先生でした。

「群馬県立病院改革プラン」素案をもとに、県立病院の担うべき役割を含めた、会計収支の悪化に伴う改革プランの検討を行なう委員会です。

県病院局からの報告では、県立病院経常収支は平成19年度(県の一般会計から60億の繰り出しがあった上で)25億円の赤字。この赤字経営の続いている県立病院をどう立て直したらよいか、総務省の「公立病院改革ガイドライン」の趣旨に沿っての計画策定に向けての検討でもあります。

素案には、

◇改革の柱として

- 1 受け入れ対象を原則として重症や急性期の患者に特定する
- 2 回復期の患者を他の病院に紹介するなど病床回転率を高める

◇黒字化に向けての対策として

- 1 黒字化期限を病院ごとに2011～2014年と設定。(収支向上策として安価な後発医療品の利用拡大、高額医療機器の導入する際の費用対効果の精査などが盛り込まれています)
- 2 他の医療機関からの紹介による受診率を引き上げ、医師の負担の軽減と、提供する医療の高度化を図る。
- 3 未収金対策強化(未収金は今年度末には1億円を越える見込み。)

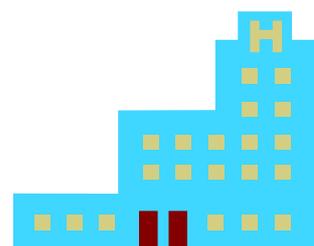
などが記載されています。

検討会では、改革プラン素案で本当に黒字にしていけるのか、本当は県立病院の先生方はどうしたら黒字に出来るか知っているでしょうなどそれぞれの病院経営者としての立場から現状の病院経営についての厳しい指摘もあり、また数人の院長先生からは、具体的な方法として、黒字経営にするための基本はマンパワー、人であること。有能な看護部長、事務局長を置かなければだめだ、職員間での挨拶の徹底が大事であるなどの意見も出ました。

次回の委員会は3月18日です。

先日、みなさまからいただいたご意見やご提案を提出しましたが、今回は、赤字経営の病院をどうするかが話し合いの中心となり、次回、改めて提案をいたします。

「治療も、費用も安心して受けられる」「近くにあったら選択肢では一番の病院」というイメージだけの県立病院でしたが現実には多くの問題を抱えていることを知った一日でした。



♪活動だより♪

みなさんの活動報告を
お待ちしております。

あけぼの群馬 新年会(2009. 1.18)に参加して

当日は曇り空でしたが、県庁31階からの眺めは空気が澄んでいて、街並みがとても綺麗でした。

今年の新年会は、顧問の先生や看護師さんも参加され、「くろ松」のお料理もおいしく、賑やかで楽しい時間を過ごすことができました。みなさんの近況報告も、それぞれ乳がん罹患後、苦しく辛い時があったり、感謝したりと、今ここに居られる幸せを実感している方ばかり…。がんという重い患者会だからこそその報告だったと思います。同じ病気の立場だからこそ分かり合える患者会は本当に貴重だと思つづく思いました。



ひまわりの会 新年会を開催しました(2009.1.22)

毎年恒例の新年会を群馬ロイヤルホテルにて開催しました。新会員の紹介や会員の近況報告などを行い、食事をしながら和気あいあいと過ごしました。

会の終了には、「上を向いて歩こう」「星影のワルツ」など数曲をみんなで合唱し、さわやかで明るい気持ちになれました。

平成21年度もさまざまな行事を通して会員同士やがん連協のみなさんと親睦を深めていきたいと思つています。



掲示板



2月、3月の行事です。
ご参加下さい。

◇地域がん診療連携拠点病院機能強化事業講演会（主催：県立がんセンター）

がん診療の先端技術 ー地域と共に進めるがん治療ー

日時：平成21年2月28日（土） 13:30～

場所：太田市学習文化センター 視聴覚ホール（太田市飯塚町1549-2）

入場料：無料

画像診断の最先端～からだの深部のがんを目で見る

群馬県立がんセンター

放射線診断部長 堀越 浩幸

放射線治療の最先端～重粒子線治療とは

群馬大学重粒子線医学研究センター

准教授 大野 達也

申し込み・問い合わせは電話 0276-38-0771（群馬県立がんセンター代表番号）

◇ 第3回 群馬県健康づくり財団ヘルスアップフェアを開催します！

日時：平成21年3月1日（日） 10:00 ～ 15:00

場所：群馬県健康づくり財団（前橋市堀之下町16-1）

各種健診・運動教室・館内、検診車見学、食べ物の販売など、みなさんに健康づくり財団を知っていただくイベントを実施します。参加無料です。当日は臓器移植推進の集いも同時開催します。

問い合わせは電話 027-269-7811（担当：総務課 清水）

【群馬県がん患者団体連絡協議会 事務局】

〒371-0005 前橋市堀之下町16-1
（財）群馬県健康づくり財団 総務部 総務課

電話027-269-7811・FAX027-269-8928
E-mail soumu3@gunma-hf.jp



趣味で行う音楽について、パソコンソフトの講習会があり、参加しました。あっという間に楽器練習用のカラオケを作ることができ、驚くやら感動するやら…。本当に便利な世の中です。

本年もよろしくお願いします。

編集担当 事務局 荒木美保